

令和4年12月10日

各 位

社会福祉法人長淵福祉会  
理事長 小嶋誠治  
特別養護老人ホームカントリービラ青梅  
施設長 小嶋直之

カントリービラ青梅における新型コロナウイルス感染症施設内蔓延収束のお知らせ

謹啓

師走の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年11月11日に発生いたしました新型コロナウイルス感染症の施設内蔓延は、12月10日をもちまして所定の療養期間、経過観察期間を経て収束を迎えましたことを皆様にご報告させていただきます。この間、西多摩保健所及び医療法人財団暁あきる台病院のご指導・ご協力のもと、施設職員一丸となり感染拡大防止に努めて参りました。結果として感染は3階フロア3部屋5名様（うち入院3名様）、4階フロア7部屋24名様（うち入院12名様）、職員5名（介護職2名・看護師1名・営繕2名）の感染者を生じることとなり、そのうちお客様3名様が残念ながら新型コロナウイルス感染症のためご逝去されました。施設を上げて感染防止に取り組みましたが、一方で新型コロナウイルス感染症が虚弱で高齢の方々にとって危険な疾患である事を思い知らされるばかりの日々でした。ご逝去されました方々に一同心よりご冥福を申し上げます。その他の方々および職員につきましては、お客様1名が入院先での療養継続となっているほかは目立った後遺症も無く経過しております。ご入居中のお客様におかれましては大変ご不自由をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。またご家族様・ご親族様には大変ご心配をおかけいたしましたことお詫び申し上げますとともに引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は国内においては未だ完全に収束するには至っておらず、今後も施設内感染が生じるリスクは決して少なくはありません。今回の事例を検討する中で感染防止対策をブラッシュアップし、発生してしまった際にも被害を最小限に抑えるための努力を引き続き行って参る所存です。皆様におかれましては引き続きご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

謹白